

セットアップ方法 (ソフトMIDI音源として)

ケーブルをPCとメガドラ(2P側)につなぐ



メガドラの電源を入れ、VGMPPlay_md.binをエムバドラなどで起動する。
起動したら1Pパッドで[↓]を押す。

MAMI VGM SOUND DRIVER BY ITOKEN

PLEASE SELECT DRIVER TYPE.

(UP)

-GENERAL UART(163840BPS) -

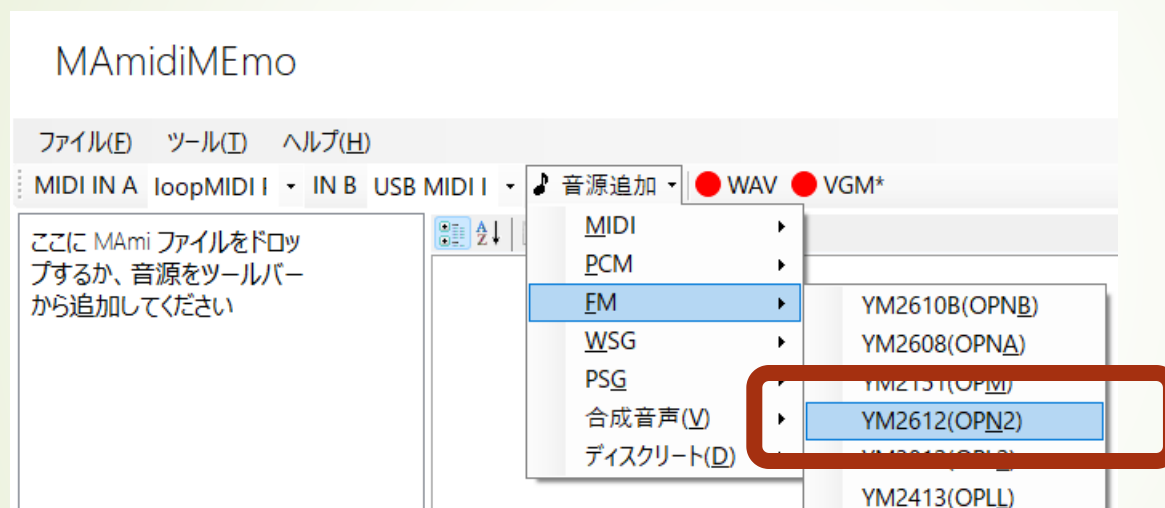
(DOWN)

-FTDI2XX DONGLE(BIT BANG) -

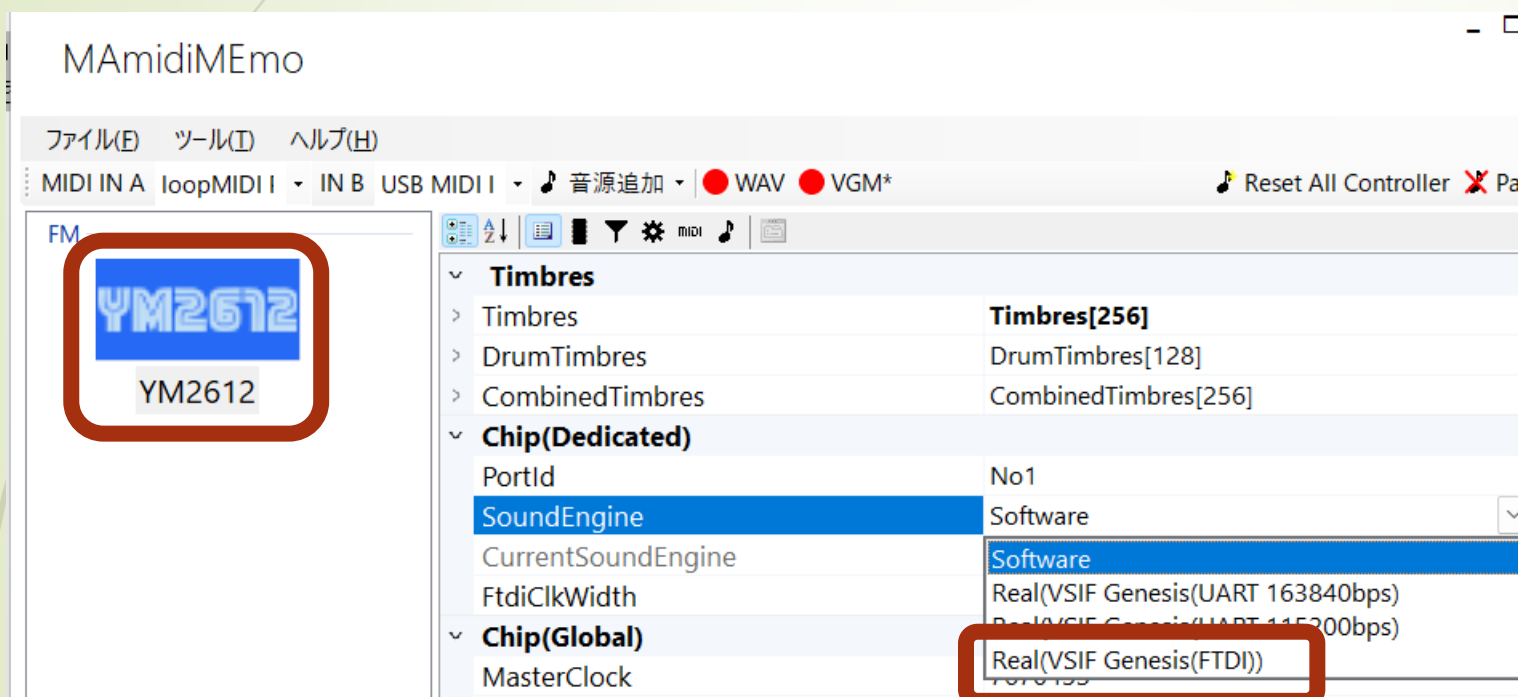
(LEFT)

-GENERAL UART(115200BPS) -

MAmidiMEmoを起動し、[YM2612]を選択する



追加された[YM2612]アイコンを選択して、
[SoundEngine]を"Real(VSIF Genesis(FTDI))"にする

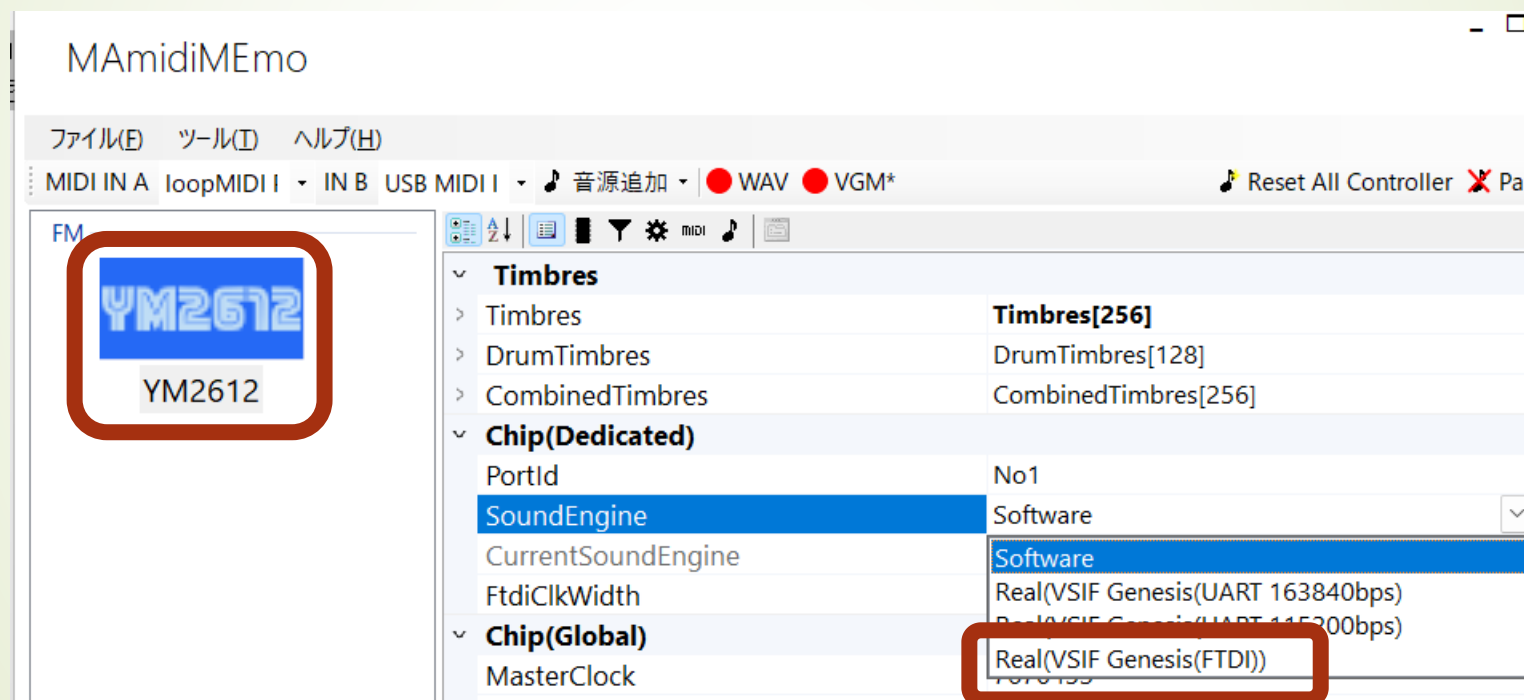


変更が反映されているかどうか
確認してください。

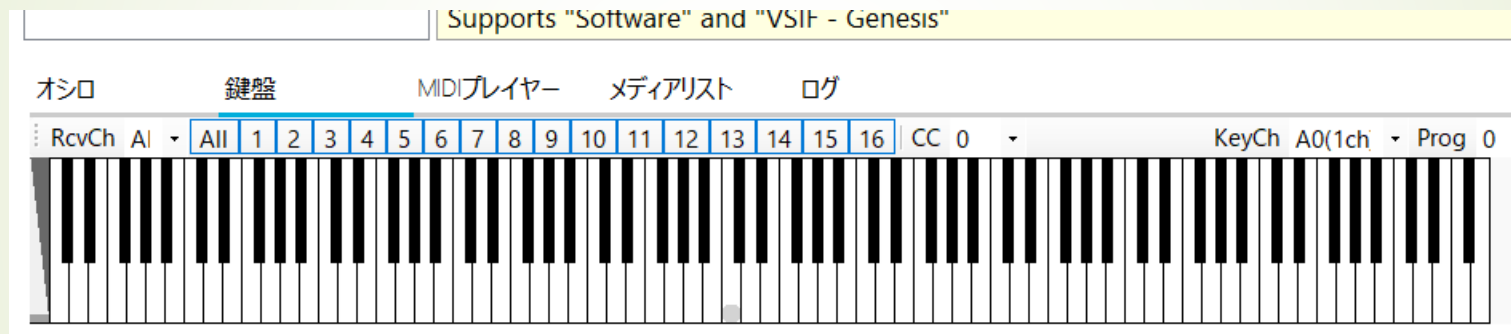
SoundEngine	Real(VSIF Genesis(FTDI))
CurrentSoundEngine	Real(VSIF Genesis(FTDI))
FtdiClkWidth	10
Chip(Global)	

通信が間に合わず音が変わる場合は
10以上を指定します

追加された[YM2612]アイコンを選択して、
[SoundEngine]を”Real(VSIF Genesis(FTDI))”にする



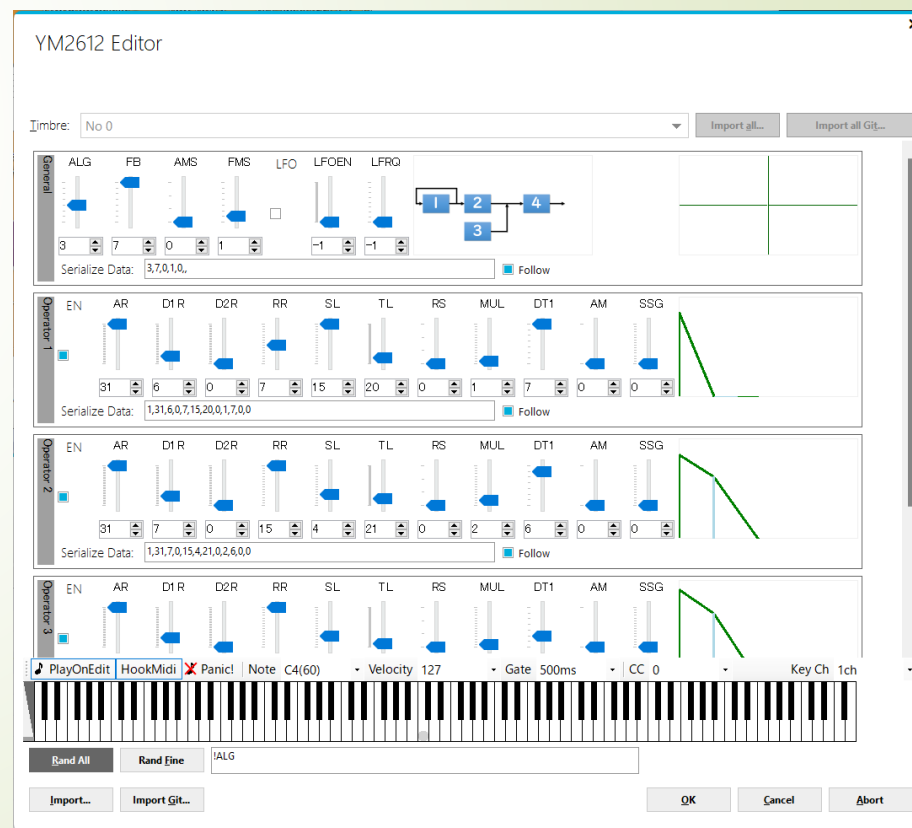
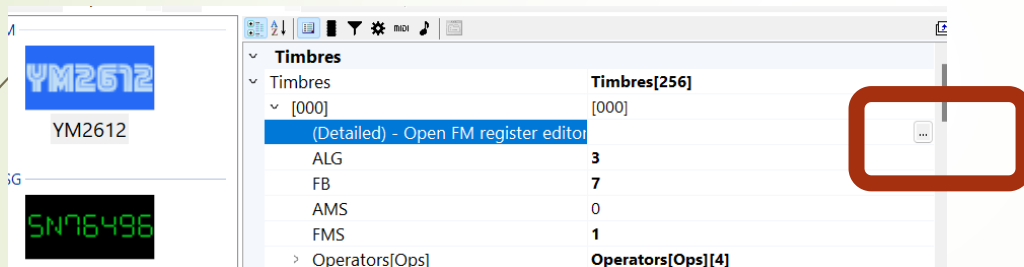
セットアップが正常であれば、鍵盤をクリックするとメガドラから音が鳴ります。



なお、アプリを終了し、次に起動すると
前回の設定状態で起動します。

音色設定1

YM2612の[Timbres]で音色1～128のどれかを選び、[...]を押すとグラフィカルなFM音色エディタが起動します。



音色設定2

グラフィカルなFM音色エディタを起動しなくても、直接オペレータなどの編集も可能です

(Detailed) - Open FM register editor

ALG	3
FB	7
AMS	0
FMS	1
Operators[Ops]	Operators[Ops][4]
[0]	[0]
Enable	1
AR	31
D1R(DR)[D1R]	6
D2R(SR)[D2R]	0
RR	7
SL	15
TL	20
RS	0
MUL	1
DT1	7
AM	0
SSG_EG	0
MmlSerializeData	31,6,0,7,15,20,0,1,7,0,0
Memo	

音色設定3

音源ドライバーによる独自の音色拡張設定も可能です

GlobalSettings	GlobalSettings
Enable	False
LFOEN	
LFRQ	
Midi Driver Settings[MDS]	Midi Driver Settings[MDS]
IgnoreKeyOff	False
KeyShift	0
PitchShift	0
PanShift	0
KeyOnDelay	0
KeyOffDelay	0
VelocityMap	
Memo	
SerializeData	{}
Sound Driver Settings[SDS]	Sound Driver Settings[SDS]
> ADSR	ADSR
> ARP	ARP
> FxS	FxS
Memo	
SerializeData	{}
Sound Control Change Settings[SCCS]	Sound Control Change Settings[SCCS]

MIDIでプログラムチェンジしたら、FM音源チップ全体の設定を変更する事が可能です

MIDIのコントロールチェンジ値にオフセットを追加できます

独自のADSRを設定できます

アルペジエーターを設定できます

独自のエフェクトを設定できます
(高速アルペジオ、トレモロなどに便利です)

音色設定4

MIDIキーボードのノブなどに音色の変更機能を割り当てられます

FM
YM2612
YM2612

PSG
SN76496
SN76496

Sound Control Change Settings[SC Sound Control Change Settings[SCCS]	
SoundControl1	Ops[0].TL
SoundControl2	ALG
SoundControl3	
SoundControl4	
SoundControl5	
SoundControl6	
SoundControl10	
AfterTouchCh	
Memo	
SerializeData	{}
TimbreName	
Memo	
> SerializeData	SerializeData
> [001]	[001]
> [002]	[002]
> [003]	[003]

SoundControl1
Sound Control 1(Control Change No.70(0x46))
Link Data Entry message value with the Timbre property value
eg 1) "DutyCycle,Volume"
... You can change DutyCycle and Volume property values dynamically via MIDI Control Change No.70 message.
eg 2) "16+Ops[2].TL/4, 64-Ops[2].MUL/2, Ops[2].D2R/4"

... You can change Operator TL, MUL, D2R values dynamically via MIDI Control Change No.70 message.

CC#70~79のメッセージを送る事で、ここに記載した音色レジスタなどの値を変更できます

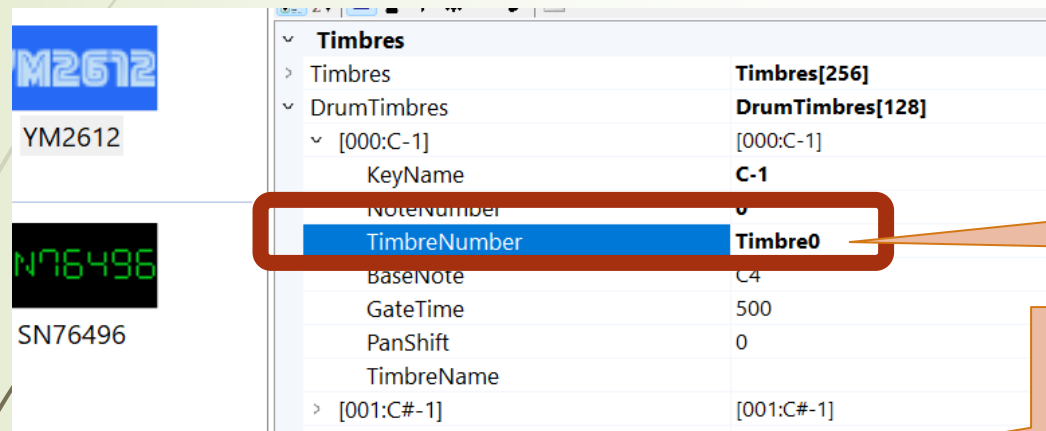
例えば「Ops[0].TL」と書くと、CC#70の値に合わせてオペレータ0のTL値が変化します。

四則演算も可能です。

AMS/PMSだけでなく、ALGなども記載できます。複数のレジスタを同時に変更したい場合は、カンマで区切っていれてください。

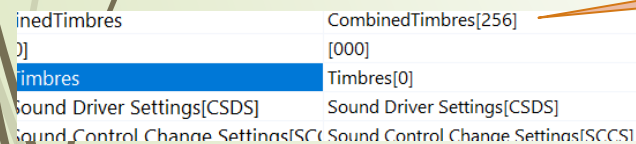
音色設定5

ドラムch(10ch)用の音色や、複数音を合成させた音色も設定できます



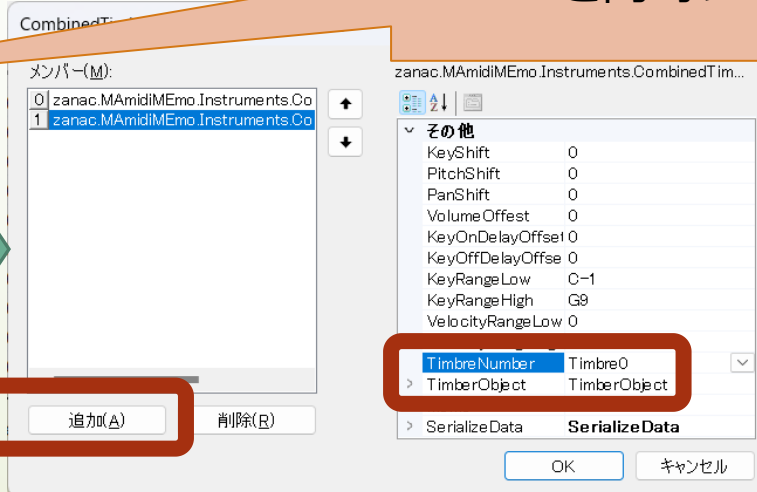
MIDI 10chの鍵盤C-1に、割り当てる音色を記載する

[CombinedTimbre]で複数音色を同時に鳴らせます

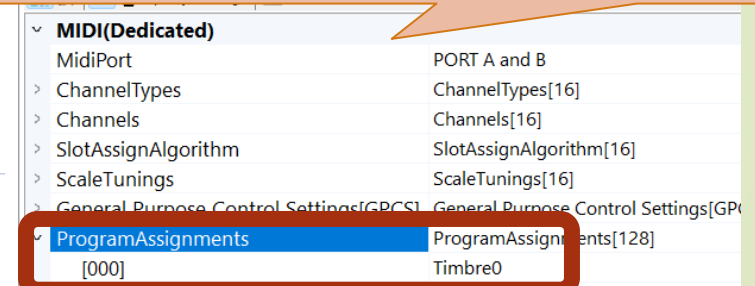


追加(A)

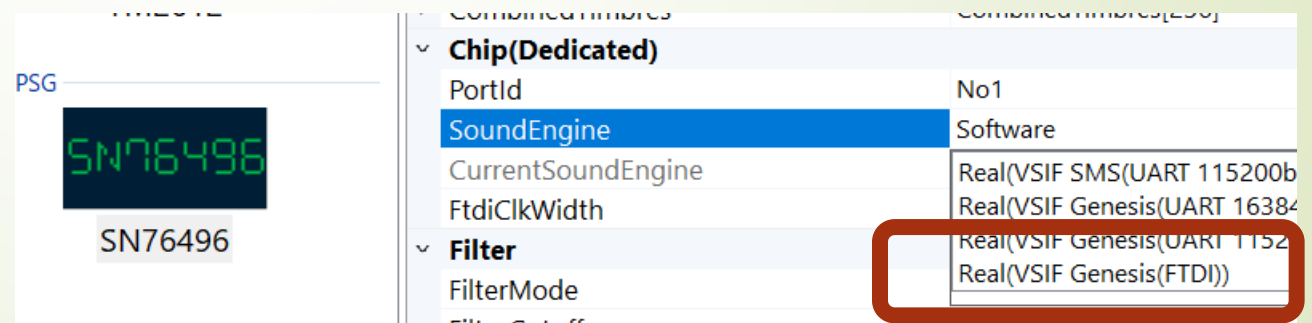
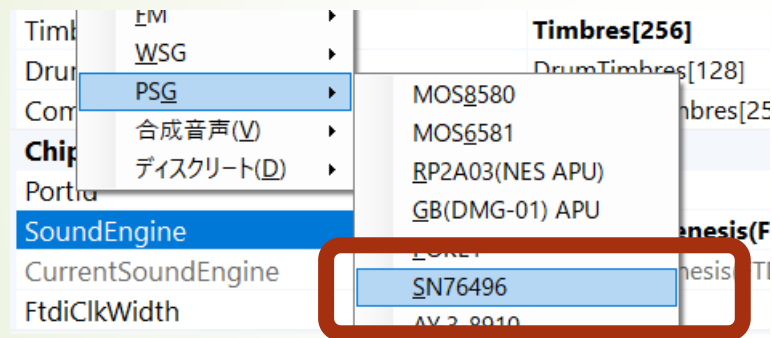
削除(R)



プログラム番号Xに、TimbreXではなく、CombinedTimbreXを割り当てます。(バンクを切り替えている、とイメージしてください)

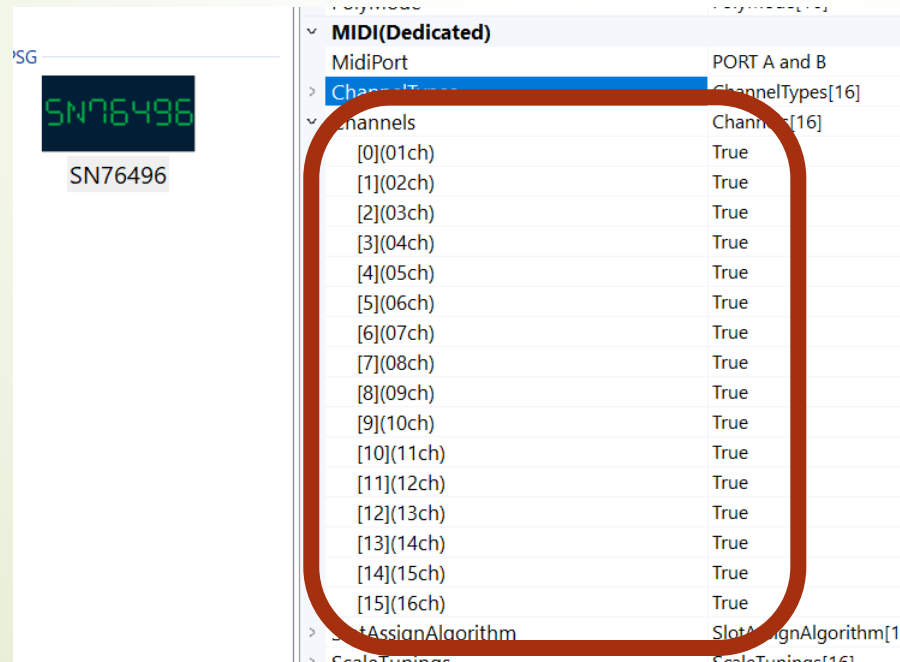


DCSGを使う場合
YM2612と同じく [SN76496] を選択し、
[SoundEngine] で [Real(VSIF Genesis(FTDI))] を
選択する。



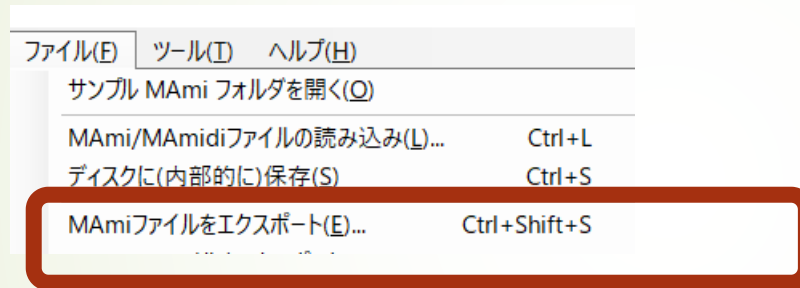
受信MIDI ch設定

- ▶ YM2612とDCSGを追加すると、デフォルトでは2つとも同じMIDI chを受信してしまいます。
- ▶ YM2612とDCSGで受信するMIDI chを設定する場合は以下の[Channels]で設定します

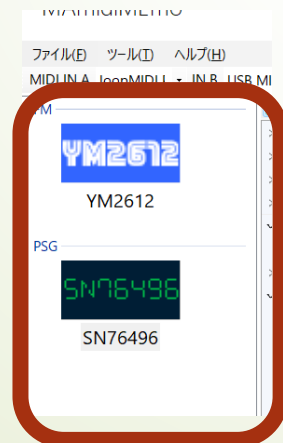


設定を別の場所に保存する

[Mamiファイルをエクスポート]を選んでください。



*.Mamiファイルを読み込む場合は、ここにドロップします



セットアップ方法 (DAWのVST2音源として)

以下のメニューを選び、DAWのVST2フォルダを選択すればOKです。

ただし、すべてのDAWで動作するかどうかは未確認です。

使い方は単体起動したときと同じですので、MIDIにちゃんと対応したDAWでないと使うのが困難です。



- 以上です
- マニュアルの方にもいくつか情報が記載されています
- なにかあれば、お手数ですがDMなどください